

3. 障害者支援施設「京都市大原野の杜」 生活介護事業・施設入所支援・短期入所事業・日中一時支援事業 特定相談支援事業所

(1) 総括

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を中心に事業を展開することとなつた。利用者の居室フロアごとにサービス提供を実施することとし、支援職員は担当フロアを定めて、一定期間可能な限りそのフロアのみで支援を実施するようにした。芽ぐみについては、両方のフロアに参加者がいるが、芽ぐみで活動したほうが良い生活リズムで穏やかに過ごすことができるため、マスクを着用していただき、これまで通り活動を実施した。その他、ほとんどの外出を自粛し、日帰り旅行や外食、日常的なおやつや身の回り品の買物等も中止とした。コンビニでおやつを購入することを楽しみにしている利用者が多くおられるが、それぞれの希望に応じて職員が購入することで了承していただいた。また、家族会やそれぞれのご家族からもお菓子の差し入れが増え、午後のティータイムにお菓子を食べる機会が増えた。外出は減ったが、散歩や近隣の公園等に出かけ歩く機会が増えたため、健康や体重維持につながった。また、感染症予防のため、利用者職員ともに手洗いや手指の消毒、マスクの着用等に努めたこともあり、体調を崩す利用者が少なかった。

一方で、加齢による身体機能の低下から、自力で動かれる利用者の転倒が増え、骨折されるケースもあった。現在は回復され自力での移動は可能であるが、引き続き注意が必要である。そのため、居室においても必要に応じて夜間のセンサーマットやポータブルトイレの使用などの他、床や家具、ベッド等に緩衝材をつけるなど環境整備を進め、ケガを防ぐよう努めている。

例年実施している地域の小学生との交流学習については、こちらも新型コロナウイルスの感染防止の観点から中止になる事が多かったが、小学校と連絡を取りながら協力してケナフの栽培から紙漉まで実施することができた。

ご家族との関わりでは、面会や帰宅を自粛していただくことが多く、利用者はゴールデンウィークやお盆、年末年始等、帰宅されることなく過ごされた。そんな中、ご家族からの一緒に暮らしたいという強い希望があり、退所されたケースが1件あった。

その他、今年度は平成30年度に続き2回目の第三者評価を受けた。

(2) 職員体制（令和3年3月末現在）

施設長（管理者）1名 副施設長（サービス管理責任者）1名 事務職員2名（補助1名）
支援職員37名（補助3名・非常勤14名）<常勤換算33.6名> 看護師2名、管理栄養士1名 洗濯業務・清掃業務（非常勤）3名 医師2名（嘱託：内科週1回・精神科月2回）
*調理は業務委託

(3) 利用者の状況

①在籍人数・利用実績

1) 施設入所支援：定員 50 名・現員 49 名、年間利用率 96.1% (R1 年度；93.4%)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男 性	在籍者	26	26	26	26	26	26	26	25	25	25	25	25	—
	不在人数	2	1	4	3	1	5	5	6	2	2	2	3	36
	不在日数	32	31	38	43	31	56	79	80	62	62	82	94	690
	利用日数	748	775	742	763	775	724	727	700	744	744	672	712	8826
女 性	在籍者	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	—
	不在人数	0	0	2	2	0	0	1	1	0	0	1	1	8
	不在日数	0	0	3	2	0	0	1	3	0	0	22	2	33
	利用日数	720	744	717	742	744	720	743	719	744	744	650	742	8729
合 計	在籍者	50	50	50	50	50	50	50	49	49	49	49	49	—
	不在人数	2	1	6	5	1	5	6	7	2	2	3	4	44
	不在日数	32	31	41	45	31	56	80	83	62	62	104	96	723
	利用日数	1468	1519	1459	1505	1519	1444	1470	1419	1488	1488	1322	1454	17555
	利用率%	97.9	98.0	97.3	97.1	98.0	96.2	94.8	94.6	96.0	96.0	94.4	93.8	96.1

2) 生活介護：定員 50 名・現員 49 名、年間利用率 94.7% (R1 年度：93.1%)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男 性	在籍者	26	26	26	26	26	26	26	25	25	25	25	25	—
	利用日数	542	575	532	565	571	529	534	513	552	552	480	519	6464
女 性	在籍者	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	—
	利用日数	518	552	508	544	547	510	531	512	552	552	466	532	6324
合 計	在籍者	50	50	50	50	50	50	50	49	49	49	49	49	—
	利用日数	1060	1127	1040	1109	1118	1039	1065	1025	1104	1104	946	1051	12788
	利用率%	96.4	98.0	94.5	96.4	97.2	94.5	92.6	93.2	96.0	96.0	90.1	91.4	94.7

②年齢・男女別人数：男性最高齢 81 歳・女性最高齢 79 歳

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80以上	合計	平均年齢
男性	0	1	7	5	6	5	1	25	55.0
女性	0	0	9	5	5	5	0	24	57.4
合計	0	1	16	10	11	10	1	49	56.2

③ 障害支援区分別人数

	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	6 区分	合計	平均区分
男性	0	0	0	1	4	20	25	5.5
女性	0	0	0	2	4	18	24	5.7
合計	0	0	0	3	8	38	49	5.6

④ 利用者の動向

- 新規入所なし
- 退 所一男性1名（10月23日自宅にて家族と同居）
- 入 院 男性1名が誤嚥性肺炎により長期入院中。
6月、8月、10月、11月、3月に女性1名が透析用シャント更新手術のため入院
2月に女性1名が誤嚥性肺炎のため入院
3月に男性1名が誤嚥性肺炎のため入院

3) 短期入所事業利用実績：定員5名、稼働率50.3%（R1年度：90.2%）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	利用人数	15	1	12	17	15	17	13	16	4	6	11	16	143
	利用日数	29	2	41	61	60	58	50	68	15	18	32	58	492
女	利用人数	12	1	9	12	6	13	13	12	5	11	7	12	113
	利用日数	19	2	40	44	24	54	56	50	18	41	31	48	427
合	利用人数	27	2	21	29	21	30	26	28	9	17	18	28	256
	利用日数	48	4	81	105	81	112	106	118	24	59	63	106	919
計	稼働率%	32.0	2.6	54.0	67.7	54.2	74.7	68.4	78.7	21.3	38.1	45.0	68.4	50.3

○京都市依頼「あんしん生活緊急サポート事業(障害者緊急短期入所事業)」の

緊急利用枠を年間13週担当：利用者べ7名、31日間の利用があった。

○虐待対応ケース なし

4) 日中一時支援事業利用実績 延べ5名（R1年度：延べ26名）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	利用人数	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	3
	利用日数	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	3
女	利用人数	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	利用日数	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
合	利用人数	0	0	0	1	0	0	1	2	0	1	0	0	5
	利用日数	0	0	0	1	0	0	1	2	0	1	0	0	5

（4）重点方針及び事業内容 取組結果

①施設入所支援

- ア. 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、居室フロアごとにサービス提供を行った。換気や消毒をこまめに行い、毎日の検温等利用者の健康チェックについては、高齢の利用者や基礎疾患を持った方も多いことから特に注意深く行った。その他、身体機能や認知面の低下により、日中活動への参加ができない利用者には、居室で静養していただく時間を設けている。
- イ. デイルームと廊下にソファーを増設し、デイルームの過密状態を少し緩和できた。タブレット端末やポータブルDVDプレイヤーを用いて、個別でお好きな映像を楽しんでいただけるようにした。また、利用者の要望に沿って居室に壁掛けテレビや介護ベッドを設置するなどして自室でくつろげるよう環境整備を行った。夜間など転倒防止のために居室でポータブルトイレを使用していただくこともあるが、京都市の助成金を活用し自動ラップ式のものを購

入した。排泄物を自動でラップしてくれるため、とても衛生的であり特に夜間の職員数が少ない時間帯の排泄物処理が軽減した。

②生活介護

ア. コロナウイルスの影響から、事業所や地域等のイベントがすべて中止になり、紙すき班の製品を販売する機会がなくなった。しかしその分、販売に追われることなく利用者のペースでゆっくり作業を進めることができた。10月からは紫野授産所の「さくさく市」にて販売を委託している。小学校との交流学習は近隣の2校と実施した。例年、ケナフの種植えから刈り取り、紙漉作業まで年間を通して4～5回の作業を行うが、コロナ感染拡大状況を鑑みながら小学校とその都度協議し、10月の刈り取り作業のみ児童と一緒に取り組むことができた。刈り取ったケナフを使って行う紙漉作業は、職員と利用者のみで行い、できあがったハガキを各小学校に届けた。

イ. 施設外作業場芽ぐみでの活動は、コロナウイルスの影響で実施できない時期もあったが、下期は、利用者がマスクを着用することにあまり抵抗がなかったこともあり、感染予防対策を施しながら実施した。しかし、これまで推し進めてきたスーパーでの買い物や理髪店等を利用することは中止とした。

ウ. めざめ班では、近隣への散歩やベランダでの歩行中心の取り組みとなったが、動く機会を作ることで身体機能の低下防止や気分転換などにつながった。散歩の途中で自動販売機に立ち寄り、飲み物を購入することを楽しみにされる利用者が多い。お菓子作りや音楽療法等の活動は、1回の参加人数を縮減し少人数で取り組むようにした。参加人数を減らしたことで職員が個別にかかる時間が増え、利用者の満足度は上がった様子である。音楽療法では、コンサートをフロアごとに分けて2回開催する計画であったが、12月の感染者が増加する時期と重なったため、1回のみの開催となった。

また、機能訓練の必要な利用者が増えており、日課の中に、訓練を意識的に組み込んでいくことで、機能維持健康増進に努めている。必要な利用者には、PT診察を定期的に実施し、身体状況の確認、訓練プログラムの見直しなどを行ってきた。対象利用者も増えてきている状況で、活動時間に限らず、生活の中で訓練を意識的に行う等、身体機能維持に取り組んでいる。

エ. 余暇活動として、毎年日帰り旅行を計画しているが新型コロナウイルスの影響により、外出することを控えたため、今年度は実施できなかった。その代わりに、誕生日にはレストランや百貨店で料理を購入し、祝う会を実施した。夏の花火大会と納涼祭については、密集しないよう小グループに分かれて参加する形で実施した。特に納涼祭は、職員が射的やヨーヨー釣り、コイン落としなど縁日風のゲームを手作りし、利用者に楽しんでいただけた。また、秋には移動カフェに来ていただいた。移動カフェは毎年恒例となってきたこともあり、利用者もリラックスして楽しめている。

オ. お茶、お花、絵画の活動については、外部から講師を招くことから、新型コロナ感染拡大状況に応じての実施としたため6月～11月の間のみの実施となった。京都府主催のとっておきの芸術祭には作品を出展したが、会場へ出かけて鑑賞することは控えた。その後、出展した作品を施設内に展示し、3月の個別懇談会の際にはご家族にも見ていただいた。

③健康管理・給食

ア. 利用者の体調異常を早期に発見するため、看護師による毎日のバイタルサインの測定など体調観察を行った。毎日の観察をもとに判断して適宜通院を実施したが、新型コロナウイルスの感染防止対策として、手洗いや消毒、日常的なマスクの着用の成果か、体調不良により通院することが例年に比べ少なかった。その他、皮膚トラブルや外用薬処置が必要な利用者の毎日の状態変化を観察し処置を実施した。不調の訴えや表出が困難な利用者の変化に気付くことが出来るよう日々の様子を観察し、利用者の生活面での様子について、支援職員へ確認・情報収集を実施し、利用者に応じた処置方法の検討や外傷や転倒等の事故再発防止に努めた。

健康診断について、今年度はコロナウイルス感染症の影響により、外部の医療機関での実施が叶わず、内部での実施となったため、機材が整備できず一部実施できない項目もあった。

健診結果に応じて医師の指示により再検査を実施した。

イ. 口腔ケアについては、全利用者が、それぞれの状態に応じて毎月～3か月に1回歯科受診することが出来た。しかし、コロナウイルス感染症の影響により、通院サイクルは歯科医師の指示のもと決定されたため、例年に比べると機会が少なかった。歯科受診時に受けた指導や助言については、記録して各利用者担当へ伝達し共有した。

ウ. 11月より管理栄養士が中心となって栄養ケアマネジメントを開始。高リスク者は1名のみで現状重度の栄養管理を行う必要はない。定期的な体重測定と食事摂取量の調査を行う。体重や嚥下機能のリスクが上がれば看護師や支援職員と協議して食事内容の変更を行う。給食には、四季の旬な食材を取り入れるだけでなく春には「苺のスイーツフェア」、夏には「スマミナメニュー」、冬には「あったかメニュー」等、季節ごとに食のイベントを設け、施設でありながら家庭や外食の雰囲気を味わえるような給食を提供した。

④短期入所事業

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため個室での利用のみとし、定員5名のところ3名の受け入れに留めた。緊急事態宣言下では、家庭や利用者の状況により受け入れざるを得ないと判断したケースを除いて、受け入れを中止した。そのため、3) の表のように、稼働率が低くなっている。現状では、施設入所の利用者と同じフロアで短期入所利用者を受け入れざるを得ず、感染症拡大のリスクは否めない。施設入所者と生活空間をどのように分けるか今後の課題であると考える。

⑤特定相談支援事業所

受給者証の更新時期にサービス等利用計画を作成した。入所されている利用者の計画であるため利用されるサービスの変更はほとんどないが、前回の計画作成時とは健康面や身体機能に変化が見られる方もあり、今後のモニタリングについても支援担当者やご家族および後見人と連絡調整を行い確実に進めていきたい。

⑥家族との連携

ア. 新型コロナウイルスの影響で、年間を通じてご家族や後見人との面会や帰宅を制限した。また、ご家族には高齢の方も多く面会にこられる機会は減っている。タブレットを使用してオンライン面会ができるよう整備したが、IT機器を使用されるご家族が少なく、あまり活用されていない。電話にて利用者の様子を伝える他、電話で会話ができる利用者は少ないが

利用者に電話口にでてもらいご家族の声を聴いていただく等、ご家族との繋がりを支援した。イ. 3月に個別懇談会を実施した。約半数の利用者のご家族が参加され、例年に比べると多い参加となった。日常の電話連絡の際にもご家族からのご要望やご意見を聴かせていただいた。利用者と会えないため、利用者の健康を心配される声が多くあった。学習会等は実施していない。

⑦地域との連携および公益的な取り組み

ア. ふれあいの里秋まつりや大原野フェスタ等、地域のイベントはすべて中止となった。イ. 地域社会福祉協議会の学習会も中止となった。近隣小学校との交流学習は縮小して実施となり、刈り取りのみ小学生とともに行った。その際、児童民生委員の方にも参加いただけた。

⑧職場環境の整備

新型コロナウイルス感染防止のためのマスクや手袋、消毒液、ゴーグル等の衛生用品を整備した。職員室や事務室にはアクリル製のパーテーションを設置し、手すり、ドアの取手等は毎日複数回消毒している。

その他、浴室の待合室に更衣台を男女1台ずつ設置し、座位が取れない利用者の更衣の際の負担が軽減した。

毎月1回衛生委員会を実施し、職員の健康や働きやすい環境づくりについて意見交換や産業医からの指導をいただいた。定期的な職員のヒアリングを実施し健康状態やストレス状態の把握をしてきたが、コロナ禍であり日常的なストレスも重なっているせいか、腰痛を訴える職員が多かった。

(5) 情報

①情報発信、開示の状況

ア. 大原野の杜通信を年2回（7月、2月）発行した。その他、号外として年2回（5月、12月）に利用者の日常の様子を掲載し、ご家族宛に発行した。
イ. イベントや季節ごとにブログを作成し、施設での取り組みと利用者の様子を伝えた。年間8回作成。また施設の1階廊下に月ごとのイベントの写真を掲示し、施設を訪れた方に利用者の様子を伝えた。

②利用者満足度、苦情解決の状況

ア. 利用者満足度調査は未実施。
イ. 第三者委員の施設への訪問は控えていただいた。年2回の通信に加え、号外で利用者の様子を伝えた。
ウ. ご家族より、利用者の転倒によるケガが増えたことやその事故が職員の見ていない場所で起こっているため詳細が不明であることについて、ケガの原因を究明し分析して予防に努めてほしいとの要望あり。また、職員の支援の質を高め利用者が安全に暮らせるようにしてほしいとのご意見をいただいた。

③リスクへの対応状況

毎月リスクマネジメント会議を実施し、アクシデントレポートやインシデントレポートを分析し改善策を話し合っている。事故が起きたこととそれに伴う注意事項や改善策をタイム

リーにすべての職員に周知し、事故の防止を徹底するようにしている。

(6) 育成

①実習やボランティアの受け入れ状況

ア. 実習の受け入れー福祉系教育機関からの実習を実施（2機関・4名・各10日間）

イ. ボランティアの受け入れ状況

6月から11月は生け花、茶道、絵画創作活動の講師に来ていただいたが、その他のボランティアの受け入れは行わなかった。

②職員育成

研修委員会が主体となり、内部研修を7回実施した。内容は、介護技術、摂食・嚥下、誤嚥窒息及び救急搬送のロールプレイ、産業医による精神疾患について、アンガーマネジメント学習会など多岐にわたっている。新型コロナ感染予防の影響により、外部研修にはほとんど参加できていない。セルフチェックシートによる振り返りを定期的に実施し、不適切な支援や言動を反省しより良い支援を目指している。

(7) 地域との交流・連携の状況

①コロナウイルスの影響で、出店、協力を予定していた行事が、すべて中止となった。

②コロナウイルスの影響で、学校、杜、それぞれでケナフ栽培を行った。交流についてはその都度、協議しながら進めたが、刈り取りのみ、一緒に取り組むことができた。

③地域ボランティアの受け入れは実施していない。

(8) 施設整備の状況

①・3階廊下系統および3階女性居室系統空調制御盤修繕。

・新型コロナウイルス感染防止のため、2階デイルーム、医務室、作業室、芽ぐみ、移動車内用にオゾン発生器「エアネス」を購入、設置。（3階デイルームには過年度にジアイノ設置済み）

・3階女性トイレの和式便器を洋式便器に改修。

・自動ラップ式ポータブルトイレ購入。

②庭の手入れについては特別なことは実施していない。

③・シャワーキャリー、デイルームのソファ、車いす対応体重計、買換え。

・厨房機器として、洗米機、フードプロセッサー買換え。

・京都市による感染拡大防止のための陰圧装置の設置（2台）。

※見守りカメラの設置、居室カーテンの取替えについては、居室フロアへの業者の立ち入りが多くなるため、次年度に見送りとした。

※自家発電機の整備については、燃料となるガソリンやプロパンガスの保管等課題があるため再考する。

京都市大原野の社區分 資金収支計算書

(自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
障害福祉サービス等事業収入		328,200,000	323,519,193	4,680,807
自立支援給付費収入	(281,570,000	276,768,601	(4,801,399)
介護給付費収入		280,900,000	276,412,170	4,487,830
計画相談支援給付費収入		670,000	356,431	313,569
利用者負担金収入		320,000	334,800	△ 14,800
特定費用収入	(27,350,000	28,473,942	(△ 1,123,942)
特定費用収入(課税)		1,190,000	1,795,957	△ 605,957
特定費用収入(非課税)		26,160,000	26,677,985	△ 517,985
その他の事業収入	(18,960,000	17,941,853	(1,018,150)
補助金事業収入(公費)非課税		100,000	34,393	65,610
補助金事業収入(公費)不課税		18,190,000	16,383,653	1,206,350
又 入		補助金事業収入(一般)非課税	0	5,860 △ 5,860
		補助金事業収入(一般)不課税	0	200,000 ▲ 200,000
		受託事業収入(公費) 賦税	600,000	698,500 △ 98,500
		その他の事業収入(課税)	65,000	7,800 △ 57,200
		その他の事業収入(不課税)	5,000	11,650 ▲ 6,650
経常経費寄附金収入	[80,000	545,000	[△ 465,000]
その他の収入	[3,830,000	2,842,123	[987,877]
受入研修費収入		60,000	40,000	20,000
利用者等外給食費収入		3,430,000	2,211,020	1,218,980
雜収入	(340,000	591,103	(△ 251,103)
雜収入(課税)		340,000	351,581	△ 11,581
雜収入(非課税)		0	19,602	▲ 19,602
雜収入(不課税)		0	219,920	△ 219,920
事業活動収入計(1)		332,110,000	326,906,316	5,203,684
人件費支出	[185,340,000	153,299,404	[3,040,596]
職員給料支出	(107,670,000	106,707,564	(962,436)
職員給料支出(課税)		3,349,000	3,210,095	138,995
職員給料支出(不課税)		104,321,000	103,497,559	823,441
職員賞与支出		26,360,000	26,542,530	△ 182,530
非常勤職員給与支出	(24,280,000	23,688,421	(591,579)
非常勤職員給与(課税)		646,000	617,040	28,960
非常勤職員給与(不課税)		23,634,000	23,071,381	562,619
退職給付支出		4,250,000	3,731,806	518,194
法定福利費支出		22,780,000	22,629,083	150,917
事業費支出	[54,060,000	45,093,026	[8,966,974]
給食費支出		20,090,000	18,350,244	1,739,756
保健衛生費支出		2,580,000	1,448,223	1,131,777
教養娯楽費支出		550,000	179,809	370,191
水道光熱費支出	(21,800,000	17,162,036	(4,637,964)
電気料		6,839,600	6,274,659	564,941
ガス料		8,939,000	5,986,360	2,952,640

京都市大原野の杜区分 資金収支計算書

(自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会

(単位: 円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
よ る 收 支	上下水道料	6,021,400	4,901,017	1,120,383
	燃料費支出	20,000	0	20,000
	消耗器具備品費支出	5,430,000	5,607,665	△ 177,665
	保険料支出	550,000	532,240	17,760
	賃借料支出	1,300,000	1,109,643	190,357
	教育指導費支出	730,000	368,257	361,743
	車輌費支出	(860,000)	(321,833)	(538,137)
	燃料油脂費	400,000	240,870	159,130
	その他の車両費	460,000	80,993	379,007
	雜支出	(150,000)	(13,046)	(136,954)
	雜支出(課税)	80,000	13,046	66,954
	雜支出(不課税)	70,000	0	70,000
	事務費支出	[38,460,000]	[33,352,884]	[5,107,116]
支 出	福利厚生費支出	(1,730,000)	(1,070,820)	(659,180)
	福利厚生費(課税)	1,630,000	757,011	872,989
	福利厚生費(不課税)	100,000	313,809	△ 213,809
	旅費交通費支出	230,000	332,540	△ 102,540
	研修研究費支出	170,000	11,130	158,870
	事務消耗品費支出	970,000	637,677	332,323
	印刷製本費支出	450,000	310,092	139,908
	修繕費支出	4,440,000	2,315,710	2,124,290
	通信運搬費支出	530,000	744,163	△ 114,186
	会議費支出	20,000	3,715	16,285
	広報費支出	200,000	0	200,000
	業務委託費支出	24,070,000	22,382,976	1,687,024
	手数料支出	450,000	583,773	△ 133,773
支 出	土地・建物賃借料支出	(680,000)	(668,000)	(12,000)
	土地・建物賃借料支出(課税)	657,000	668,000	△ 11,000
	土地・建物賃借料支出(非課税)	23,000	0	23,000
	租税公課支出	350,000	121,400	228,600
	保守料支出	3,840,000	3,975,170	△ 135,170
	諸会費支出	(150,000)	(140,860)	(9,150)
	諸会費支出(非課税)	△ 1,000	24,000	△ 25,000
	諸会費支出(不課税)	151,000	116,850	34,150
	雜支出	(80,000)	(54,865)	(25,135)
	雜支出(課税)	50,000	54,865	△ 4,865
	雜支出(不課税)	30,000	0	30,000
	支払利息支出	[20,000]	[31,790]	[△ 11,790]
	その他の支出	[1,190,000]	[1,535,950]	[△ 345,950]
事業活動支 出計(2)	利用者等外給食費支出	1,190,000	1,535,950	△ 345,950
	事業活動支 出計(2)	279,070,000	263,313,054	15,756,946
事業活動資金収支差額(3)-(1)-(2)		53,040,000	63,593,262	△ 10,553,232

京都市大原野の社区分 資金収支計算書

(自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会

(単位：円)

		勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
施設整備等による収支	施設入				
	施設整備等収入計(4)		0	0	0
	固定資産取得支出	4,240,000	[4,410,367]	[△ 170,367]	
	建物取得支出	1,900,000	1,773,706	126,294	
	器具及び備品取得支出	2,120,000	2,515,661	△ 395,661	
	ソフトウエア取得支出	220,000	121,900	99,000	
	ファイナンス・リース債務の返済支出	370,000	[395,516]	[△ 25,516]	
	施設整備等支出計(5)	4,510,000	4,805,983	△ 195,983	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 4,510,000	△ 4,805,983	△ 195,983	
	その他の活動収入	2,350,000	[1,250,000]	[1,100,000]	
その他の活動による収支	積立資産取崩収入	2,350,000	1,250,000	1,100,000	
	積立資産取崩収入				
	その他の活動収入計(7)	2,350,000	1,250,000	1,100,000	
	積立資産支出	0	[11,000,000]	[△ 11,000,000]	
	人件費積立資産支出	0	3,000,000	△ 3,000,000	
	修繕積立資産支出	0	3,000,000	△ 3,000,000	
	備品等購入積立資産支出	0	3,000,000	△ 3,000,000	
	拠点区分間繰入金支出	50,780,000	[48,592,000]	[2,188,000]	
	その他の活動支出計(8)	50,780,000	59,592,000	△ 8,812,000	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 48,430,000	△ 58,342,000	9,912,000	
設備費支出(10)		0			0
当期資金収支差額合計(11)=(6)+(9)-(10)		0	445,279	△ 445,279	
前期末支払資金残高(12)		0	163,020,142	△ 163,020,142	
当期末支払資金残高(11)+(12)		0	163,465,421	△ 163,465,421	

京都市大原野の杜区分 事業活動計算書

(自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
収 益	障害福祉サービス等事業収益	[323,519,193]	[322,876,344]	[642,849]
	自立支援給付費収益	(276,768,801)	(275,702,850)	(1,065,771)
	介護給付費収益	276,412,170	275,296,649	1,115,521
	計画相談支援給付費収益	356,431	406,181	△ 49,750
	利用者負担金収益	334,800	0	334,800
	特定費用収益	(28,473,942)	(27,274,361)	(1,199,281)
	特定費用収益(課税)	1,795,957	0	1,795,957
	特定費用収益(非課税)	26,677,985	27,274,661	△ 598,676
	その他の事業収益	(17,841,850)	(19,898,853)	(△ 1,957,003)
	補助金事業収益(公費)非課税	34,890	125,518	△ 91,128
	補助金事業収益(公費)不課税	16,933,650	19,013,825	△ 2,030,175
	補助金事業収益(一般)非課税	5,860	20,840	△ 14,980
	補助金事業収益(一般)不課税	200,000	0	200,000
サ 活 動 増 減 の 部	受託事業収益(公費)課税	638,500	696,300	2,200
	その他の事業収益(課税)	7,800	42,370	△ 34,570
	その他の事業収益(不課税)	11,650	0	11,650
	経常経費寄附金収益	[614,000]	[243,800]	[370,200]
	サービス活動収益計(1)	324,133,193	323,120,144	1,013,049
	人件費	[182,539,424]	[176,101,305]	[6,438,099]
	職員給料	(106,707,554)	(105,070,090)	(1,637,474)
	職員給料(課税)	3,210,036	2,864,160	345,845
	職員給料(不課税)	103,497,559	102,205,930	1,291,629
	職員賞与	17,832,530	17,810,357	22,173
	賞与引当金繰入	7,950,000	8,710,000	△ 760,000
	非常勤職員給与	(23,688,421)	(19,006,316)	(4,682,102)
	非常勤職員給与(課税)	617,040	389,882	247,158
	非常勤職員給与(不課税)	23,071,381	18,636,437	4,434,944
	退職給付費用	3,731,806	3,592,361	139,445
	法定福利費	22,629,083	21,912,178	716,905
	事業費	[45,162,026]	[44,507,934]	[654,092]
	給食費	18,350,244	18,225,672	124,572
	保健衛生費	1,448,223	1,401,264	46,959
	教養娯楽費	179,809	184,525	△ 4,716
	水道光熱費	(17,162,036)	(18,105,401)	(△ 943,365)
	電気料	6,274,659	6,275,946	△ 1,287
	ガス料	5,986,360	8,015,607	△ 2,029,647
	上下水道料	4,901,017	3,813,448	1,087,569
	燃料費	0	2,924	△ 2,924
	消耗器具備品費	5,678,666	3,798,971	1,877,694
	保険料	532,240	514,060	18,190
	賃借料	1,109,643	894,113	215,530
	教育指導費	368,257	593,322	△ 225,065

京都市大原野の社区分 事業活動計算書

(自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会

(単位：円)

		勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
費用	車両費	(321,883)	(726,563)	(△ 404,700)	
	燃料油脂費	240,870	173,215	67,655	
	その他の車両費	80,993	553,348	△ 472,355	
	雜費	(13,046)	(61,126)	(△ 48,083)	
	雜費（課税）	13,046	51,126	△ 38,083	
	雜費（不課税）	0	10,000	△ 10,000	
	事務費	[33,352,884]	[31,587,294]	[1,765,590]	
	福利厚生費	(1,070,820)	(1,030,803)	(40,017)	
	福利厚生費（課税）	757,011	840,448	△ 83,437	
	福利厚生費（不課税）	313,809	190,355	123,454	
	旅費交通費	332,540	206,405	126,135	
	研修研究費	11,130	186,968	△ 125,838	
	事務消耗品費	637,677	453,022	184,655	
	印刷製本費	310,092	286,217	23,875	
	修繕費	2,315,710	2,269,534	46,176	
	通信運搬費	744,166	650,947	93,219	
	会議費	3,715	2,900	815	
	業務委託費	22,382,976	21,572,649	810,327	
	手数料	583,773	143,988	439,785	
収益	土地・建物賃借料	(668,000)	(668,000)	(0)	
	土地・建物賃借料（課税）	668,000	648,000	20,000	
	土地・建物賃借料（非課税）	0	20,000	△ 20,000	
	租税公課	121,400	269,400	△ 148,000	
	保守料	3,975,170	3,642,755	332,415	
	諸会費	(140,850)	(200,850)	(△ 60,000)	
	諸会費（非課税）	24,000	24,000	0	
	諸会費（不課税）	116,850	176,850	△ 60,000	
	雜費	(54,865)	(52,856)	(2,009)	
	雜費（課税）	54,865	52,856	2,009	
活動外増	減価償却費	[5,129,178]	[4,801,251]	[327,927]	
	国庫補助金等特別積立金取崩額	[△ 280,973]	[△ 387,165]	[106,192]	
	サービス活動費用計(2)	265,902,519	253,610,619	9,291,900	
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	58,230,674	66,509,525	△ 8,278,851	
	その他のサービス活動外収益	[2,842,123]	[3,200,965]	[△ 358,842]	
収益	受入研修費収益	40,000	33,000	7,000	
	利用者等外給食収益	2,211,020	2,429,844	△ 218,824	
	雜収益	(591,103)	(738,121)	(△ 147,018)	
	雜収益（課税）	351,581	738,121	△ 386,540	
	雜収益（非課税）	19,602	0	19,602	
活動外増	雜収益（不課税）	219,920	0	219,920	
	サービス活動外収益計(4)	2,842,123	3,200,965	△ 358,842	
	支払利息	[31,790]	[31,792]	[△ 2]	

京都市大原野の社区分 事業活動計算書

(自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
減 用 部	その他のサービス活動外費用	[1,535,950]	[1,450,330]	[85,620]
	利用者等外給食費	1,535,950	1,450,330	85,620
	サービス活動外費用計(5)	1,567,740	1,482,122	85,618
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	1,274,383	1,718,843	△ 444,460
経常増減差額(7)=(3)+(6)		59,505,057	68,228,368	△ 8,723,311
収 益 特別 別 増 用 部	特別収益計(8)	0	0	0
	固定資産売却損・処分損	[□ 1]	[□ 3]	[△ 2]
	器具及び備品売却損・処分損	1	3	△ 2
	国庫補助取崩額（除去等）	[□ 0]	[□ 96,216]	[□ 96,216]
減 用 部	国庫補助金等特別積立金積立額	[□ 865,040]	[□ 0]	[□ 865,040]
	拠点区分間繰入金費用	[□ 48,592,000]	[□ 51,010,000]	[△ 2,418,000]
	特別費用計(9)	48,457,041	50,913,787	△ 1,456,746
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ 48,457,041	△ 50,913,787	1,456,746
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		10,048,016	17,314,581	△ 7,266,565
繰 越 活動 増 減 額 部	前期繰越活動増減差額(12)	175,761,381	169,446,800	6,314,581
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	185,809,397	176,761,381	△ 951,984
	基本金取崩額(14)	[□ 0]	[□ 0]	[□ 0]
	その他の積立金取崩額(15)	[□ 1,250,000]	[□ 0]	[□ 1,250,000]
減 用 部	修繕積立金取崩額	1,250,000	0	1,250,000
	その他の積立金積立額(16)	[□ 11,000,000]	[□ 11,000,000]	[□ 0]
	人件費積立金積立額	3,000,000	3,000,000	0
	修繕積立金積立額	8,000,000	4,000,000	4,000,000
借入金等購入積立金積立額		0	4,000,000	△ 4,000,000
次期繰越活動増減差額 (17)=(13)+(14)+(15)-(16)		176,059,397	175,761,381	298,016

京都市大原野の社區分 貸借対照表

2021年3月31日現在

社会福祉法人京都総合福祉協会

(単位：円)

資産の部				負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流动資産	184,656,573	184,627,159	29,411	流动負債	29,454,601	30,712,638	△ 1,248,037
現金預金	72,174,108	45,003,919	27,170,190	支払未払金	20,646,106	21,082,302	△ 446,654
事業未収金	47,834,749	49,374,740	△ 1,399,991	その他の未払金	266,453	251,291	15,172
未収金	0	24,310	△ 24,310	1年以内返済予定期一ス債務	323,452	385,521	△ 62,169
未収助成金	7,438,950	12,173,826	△ 5,734,875	預り金	0	303	△ 303
立替金	730,893	773,587	△ 44,694	職員預り金	276,548	262,624	13,924
前払金	65,900	56,000	△ 900	貸与引当金	7,950,000	8,713,060	△ 763,060
拠点区分間貸付金	56,381,965	73,723,778	△ 16,341,813				
固定資産	37,102,827	38,071,439	△ 9,031,188	固定負債	502,045	385,492	△ 116,553
その他の固定資産	37,102,827	38,071,439	△ 9,031,188	リース債務	305,536	328,983	△ 23,447
建物	6,747,373	5,569,730	1,187,948	退職給付引当金	386,509	356,509	△ 30,000
構築物	571,752	370,174	△ 201,578	貯蔵の部合計	30,928,548	31,598,120	△ 671,484
機械及び装置	27,190	56,816	△ 29,626				
官署辦公具	244,362	783,048	△ 538,686	積立資産	1,723,154	1,139,087	584,367
器具及び備品	13,258,144	14,903,732	△ 1,645,588	国正補助金等特別積立金	1,723,154	1,139,087	584,367
有形リース資産	52,403	83,844	△ 31,441	その他積立金	73,950,000	64,206,090	9,753,910
権利	149,760	149,750	△ 10	その他の積立金	73,950,000	64,206,090	9,753,910
ソフトウェア	208,284	146,076	△ 62,213	次期継続活動増減差額	176,059,397	175,761,331	298,016
無形リース資産	476,556	840,790	△ 364,234	(うち当期活動増減差額)	10,048,016	17,214,581	△ 7,266,565
退職給付引当資産	356,509	356,509	0	純資産の部合計	281,732,551	241,109,468	10,332,083
積立資産	73,950,000	64,206,000	△ 9,753,900	負債及び純資産の部合計	281,732,551	272,698,558	9,060,599
差入保証金	1,000,000	1,000,000	0				
長期前払費用	56,930	36,960	△ 20,000				
資源の部合計	281,732,551	272,698,558	△ 9,060,599				

計算書類に対する注記（京都市大原野の杜）

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

◇満期保有目的の債券：償却原価法(定額法)

(2) 固定資産の減価償却の方法

◇有形固定資産：定額法による減価償却を実施する。

・平成19年3月31日以前に取得した有形固定資産については残存価額を取得価額の10%として償却を行い、耐用年数到来後も使用する場合には備忘価額(1円)まで償却する。

・平成19年4月1日以降に取得したものについては、減価償却累計額が当該資産の取得価額から備忘価額(1円)を控除した金額に達するまで償却する。

◇無形固定資産：定額法による減価償却を実施する。

・残存価額は0円とし、償却累計額が当該資産の取得価額に達するまで償却する。

◇リース資産

・ファイナンス・リース取引：所有権移転外ファイナンスリース取引に係るリース資産 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。ただし、重要性が乏しいものについては貸借取引にかかる方法に準じた会計処理によっている。

(3) 引当金の計上基準

◇京都社会福祉事業企業年金基金の実施する確定給付企業年金制度

・京都社会福祉事業企業年金基金にかかる取扱い規定による

◇賞与引当金

・職員に対する賞与の支給に備えるため、当該支給予定期のうち當年度に滞属する期間に相当する金額を賞与引当金に計上している。

◇徴収不能引当金

・なし

(4) 消費税等の会計処理

・消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 重要な会計方針の変更

・なし

3. 採用する退職給付制度

◇法人独自の退職給付制度

・社会福祉施設職員等退職手当共済法の適用を受けることが出来ない職員に対して支給される額で、年度末における同共済法の定める所により算出し、交付される額に準じて算出した額による

◇京都社会福祉事業企業年金基金の実施する確定給付企業年金制度

◇独立行政法人福祉医療機構の実施する退職給付制度

4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

(1) 京都市大原野の杜 拠点計算書類（会計基準令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式）

(2) 拠点区分事業活動明細書（別紙3⑩）

- ア 生活介護事業
- イ 施設入所支援事業
- ウ 短期入所事業
- エ ヒート一時支委事業
- オ 特定相談支援事業

(3) 拠点区分資金収支明細書（別紙3⑩）は省略している。

5. 基本財産の増減の内容及び金額

該当なし

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

7. 担保に供している資産

該当なし

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	9,477,956	2,730,278	6,747,678
構築物	6,267,800	6,686,048	571,752
車両運搬具	11,852,337	11,607,985	244,352
機械及び装置	528,284	501,094	27,190
器具及び備品	29,839,792	16,581,648	13,258,144
有形リース資産	167,206	104,803	62,403
合計	59,113,375	37,211,856	20,901,519

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

(貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
該当なし			
合計			

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
該当なし			
合計			

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び

純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし